



第10回やまぐち高校生県議会に 参加してきました！

岩国・柳井地域版

R6.10.29 開催



高校生県議会って？

次代を担う県内高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心を高めてもらうため、平成27年度から実施されている模擬議会

議長開会宣言



開会宣言する
柳居議長

第10回記念ミニコンサート



第10回の開催を記念して、山口中央高等学校オーケストラ部と合唱部の皆さんの演奏による、ミニコンサートを開催しました！

高校生議員の自己紹介



高校生議員からの質問及び執行部答弁

高齢者の事故を減らす取組として、運転免許証自主返納制度があり、免許の返納率を上げるためには、公共交通機関を便利にすることが有効だと考えます。

免許返納後の高齢者が利用しやすい地域公共交通の確保・充実を図っていくための具体策はありますか。



質問に立つ
山本議員

高齢者が安心して免許返納ができるよう、便利でより使いやすい公共交通の確保や充実を図ることは大変重要であり、高齢者の基本的な移動手段となる路線バスの運行を支援するとともに、利用者の予約に応じて運行されるデマンド型タクシーを導入する市町を支援することにより、効率的で利便性の高い移動手段の確保に努めています。

また、公共交通機関のバリアフリー化を進めるなど、高齢者が利用しやすい環境を整備しています。

御提案のありました電車やバスの増便や、これらとタクシーとの組み合わせによる円滑な移動手段の確保、免許返納者を対象とした生活用品の補助などは、高齢者が免許を返納しても、便利に安心して暮らせる効果的な取組だと思います。

特に、電車やバスを降りてからの移動手段の確保はとても重要な視点であり、市町では、デマンド型タクシーなどを導入するとともに、タクシー利用助成券の交付などにも取り組んでいます。

また、交通系のICの普及については、バスやタクシー会社の業務が効率化されるだけでなく、公共交通機関がより使いやすいものとなり、利用者の増加にもつながると考えるため、県では、交通系ICカードを導入するバス会社を支援し、現在、県内で運行している路線バスの約9割の車両で利用できるようになったところです。

今後とも、御提案のありましたアイデアの実現を含め、免許返納後の高齢者が利用しやすい地域公共交通の確保や充実に向け、バスやタクシーなどの交通事業者や市町等と連携して取り組んでいきます。



答弁する
村岡知事

山本議員（田布施農工高）と寺本議員（高水高）が、
岩国・柳井地域を代表して質問をしました！

中学生の時点で英語力を身につけるには、小学校低学年からの英語コミュニケーション能力の習得が必要です。また、習得のためには外国人との交流が最も効果的です。県として、子どもたちへ向けた英語コミュニケーション能力の早期習得についてどのような取り組みを計画されているのでしょうか。



質問に立つ
寺本議員

県教委では、小学生が意欲的に英語を学ぶことができるよう、楽しい授業づくりのための研修会や、小・中・高の英語担当教員の交流など、教員自らが学ぶための機会を提供し、言語活動を通じた指導の充実に努めています。

また、各学校の授業では、ALTや地域の方々の協力のもとで、英語による会話を楽しんだり、異文化への理解を深めたりするための活動が県全域で行われており、特に、岩国や柳井地域等では、多くの小学生が米軍岩国基地内の学校を訪問して、同世代の子どもたちと交流を深めています。

こうした取組に加え、英語によるコミュニケーション能力の習得のためには、外国の方々との体験的な交流等、国際交流の機会を充実させることが効果的であり、寺本議員からは、このために必要となる大変貴重な御提案をいただきました。

御提案を踏まえ、例えば、交流する機会を増やし、英語で伝え合う際の素地となる資質・能力を育むために、今後、1人1台タブレット端末を活用し、米軍岩国基地内の学校に加え、海外の学校などの子どもたちとも、オンラインでつないで英語に親しむ取組を充実していきます。

さらに、現在、多くの学校に設置の英語ルームに、地域にお住まいの外国の方々や大学の留学生を積極的にお招きし、児童が英語の発音や語順などに触れる機会を増やしていきます。

なお、高校生に向けても、アメリカのスタンフォード大学との連携による国際教育プログラムを受講できる講座や、海外での短期留学に必要な経費の支援等も行っていますので、寺本議員をはじめ、高校生の皆さんには、こうした制度等を積極的に活用していただき、豊かな国際感覚を養い、将来、山口県を担う存在として、幅広い視野を持って活躍されることを期待しています。



答弁する
繁吉教育長

第10回やまぐち高校生県議会で可決された意見書

「男性の育児休業取得率向上のためのサービスロボット導入を求める意見書」

男性の育児休業取得率の低い産業において、作業効率を上げ、人手の余裕を持たせることにより、育児休業取得率を上げるために、サービスロボットの導入を求める意見書を、高校生議員47名全員の賛成で可決しました。

(代表提案者：豊浦高等学校 桑野 羽桜さん)



提案理由を説明する
桑野議員

決意表明

高校生議員を代表して、「山口県民の一員として持続可能な未来社会に貢献し、誰もが暮らしやすく、希望にあふれた山口県の実現のために、積極的に尽力し続ける。」と決意表明をしました。

(決意表明者：下松高等学校 立野 嬉杏さん)



決意表明する
立野議員

岩国・柳井地域の高校生議員の皆さん

- (周防大島高等学校)
興梶向日葵さん 服部真歩さん
- (岩国高等学校広瀬分校)
鮎川樹来君 高岡侑樹君
- (田布施農工高等学校)
鶴本七海さん 山本さくらさん
- (高水高等学校)
井下寧々さん 寺本朱里さん
福本夕晏さん

記念撮影

